

山でクマと 会わないために

家の近くにクマを 引き寄せないために

① 入山しようとする地域で クマの出没情報は注意する。

府広域振興局や市町村、地元住民から
情報を集めて入山してください。

② クマの形跡がある ところには行かない。

新しいクマの糞、足跡などを
見つけたらあわてず注意しな
がら行動してください。

林外の安全な場所が近くにあ
る場合は、すぐに移動してください。

③ 突然クマと出会わないよう、 自分の存在を知らせる。

クマは臭覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人
より先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオ
を鳴らして歩きましょう。

④ クマが活発に行動する朝夕の行動は特に注意を。

朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んにな
ります。朝夕の山中での行動は十分注意してください。

⑤ 霧や風の日、川の近くでは注意する。

山中でこのような場面ではクマも感覚能力が発揮できず、
人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。

⑥ 子グマを見たら絶対に 近づかない。

近くに必ず親グマが
います。近づいたりす
ると子グマを守るため
襲ってくるることがあ
ります。すぐにその場か
ら立ち去りましょう。



▲木の実を食べた後のクマの糞

① 家の周りには残飯を捨てないでください。

クマは、腐りかけた肉なども
大好きです。

コンポストから出て
くる悪臭はクマを呼び
寄せることとなります。



② キャンプ地等 ではゴミや残飯 の管理を徹底してください。

味が付いた袋や空き缶などもクマ
を呼び寄せることとなります。

臭いが出ないようにビニール袋に
密封して持ち帰ってください。



③ ハチの巣は取り除く。

クマはハチミツが大好きです。
ハチの巣はクマを呼び寄せるも
つになりますので取り除きましょう。

会ったときに あわてない 興奮させないために

① あわてない。

遠くにいるだけなら心配はありません。そっと立ち去りましょう。



② 騒がない。

大声を出さない。石や棒
きれを投げない。興奮させるだけで

③ 威嚇行動には注意する。

前進と後退を繰り返して威嚇するこ
とがあります。

④ そっと下がる。

距離はお互いの興奮を鎮めることにな
ります。できるだけゆっくり離れてくだ

⑤ 走って逃げない。

十分離れるまでは背中を見せて逃げるのは厳禁です。クマ
は本能的に襲ってくる場合があります。

